

2022 年度 暫定期間

環境経営レポート

(取組期間 2022 年 10 月 1 日～2023 年 3 月 31 日)



発行日:2023 年 9 月 25 日

改訂日:2023 年 10 月 6 日

改訂日:2024 年 1 月 9 日

改訂日:2024 年 2 月 19 日

改訂日:2024 年 3 月 22 日

Seeds 株式会社シーズ 大梅工場

〒963-6145 福島県東白川郡棚倉町大字大梅字段河内 303-23

TEL0247-35-2220 FAX0247-35-2071

目次

1.	環境経営方針.....	1
2.	会社概要	2
3.	環境経営システムの実施体制図及び役割・責任・権限表	7
4.	環境経営目標.....	9
5.	環境経営計画(暫定期間)	10
6.	環境経営計画の取組内容と実施結果の評価.....	11
7.	環境活動計画の実績とその評価.....	12
8.	環境経営目標の実績と達成率を踏まえた評価.....	13
9.	環境関連法規の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反・訴訟の有無.....	14
10.	代表者の全体評価及び見直し.....	15
11	今年度の評価を踏まえた次年度環境経営目標及び環境経営計画	16

環境経営方針

<基本理念>

株式会社シーズは、産業廃棄物収集運搬・中間処理事業等の活動を通じて、地球環境の保全、地域との共生により環境負荷軽減に取り組みます。

社員一人一人が、お客様や地域を大切にする企業として、環境資源の有効活用のもと環境保全と持続可能な地域づくりを目指し、環境経営システムを構築し、実施・運用して、継続的改善を行うことで資源の再生を図り、循環型社会の構築に努めます。

<行動指針>

事業活動を通じて環境関連法規を遵守します。

1. 地球温暖化防止のため、二酸化炭素の排出削減に取り組みます。
2. 受託産業廃棄物の収集・運搬・中間処理による分別の徹底と再資源化を図ります。
3. 水資源の有効利用を図り、節水に取り組みます。
4. 環境に配慮した製品の製造・販売により環境保全に努めます。
5. 地域貢献活動を通して、環境整備に努めます。
6. 環境に配慮した企業からの製品の調達に努めます。
7. 化学物質使用量の削減に取り組みます。
8. SDGs(持続可能な開発目標)を意識した行動に努め、環境問題に取り組んでいきます。

この活動を全社員に周知徹底し、環境意識を高め、継続的に環境負荷低減に取り組んでいくことを誓います。

制定日:2022年8月19日

改定日:2022年11月18日

改定日:2023年9月22日

株式会社 **シーズ**

代表取締役 **石井良夫**

2. 会社概要

1 名称及び代表者名

株式会社 シーズ

代表取締役 石井良夫

2 所在地

本社	福島県東白川郡棚倉町大字流字豊先1
大梅工場(対象範囲)	福島県東白川郡棚倉町大字大梅字段河内 303-23
生コン工場	福島県東白川郡棚倉町大字下山本字松並平 34-8
俵内工場	福島県東白川郡棚倉町大字戸中字高内 186-6
上台工場・農場	福島県東白川郡棚倉町大字上台字行人塚 51-3
堀川工場	福島県東白川郡棚倉町大字棚倉字堀川 15-270
業務(資材・リース)	福島県東白川郡棚倉町大字堤字塚田 60-3
流給油所	福島県東白川郡棚倉町大字流字豊先1
関口給油所	福島県東白川郡棚倉町大字関口字上志宝 32-1
社川給油所	福島県東白川郡棚倉町大字堤字塚田 59
塙給油所	福島県東白川郡塙町大字大町2丁目 17-1
マスホン棚倉店	福島県東白川郡棚倉町大字流字屋中田 53-1

3 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者	常務取締役	下重 佳寛	TEL:0247-33-7890 E-mail:yoshihiro.s@seeds-g.net
環境管理担当者	総務部	高久 洋	TEL:0247-33-7890 E-mail:hiroshi.t@seeds-g.net
	総務部	緑川 美香	TEL:0247-33-7890 E-mail:mika.m@seeds-g.net
	総務部	小針 洋一郎	TEL:0247-33-7890 E-mail:yoichiro.k@seeds-g.net
推進責任者	大梅工場	会田 嘉裕	TEL:0247-35-2220 E-mail:yoshihiro.a@seeds-g.net
推進責任者補佐	大梅工場	緑川 敦子	TEL:0247-35-2220 E-mail:atsuko.m@seeds-g.net

4 事業内容

対象範囲:大梅工場

産業廃棄物収集・運搬、中間処分業

アスファルト合材の製造販売

砂の製造販売

5 事業の規模

設立年月日: 昭和 39 年 3 月 24 日

資本金: 2,940 万円

売上高: 45.2 億円

	従業員(人)	建物床面積(m ³)
本社・流給油所	19	734.70
大梅工場 砕砂・産廃	12	476.66
アスファルト合材	10	
生コン工場	20	695.10
俵内工場	13	163.96
上台工場	上台工場	2445.24
	農場	
堀川工場	1	622.48
関口給油所	4	221.79
社川給油所	5	98.00
埴給油所	6	108.77
業務(資材・リース)	2	32.49
マスホン棚倉店	6	347.52
合計	108	5946.71

6 事業年度

4 月 1 日～3 月 31 日

認証・登録の対象組織・活動

登録組織名	株式会社 シーズ		
対象事業所	大梅工場	砕砂・産廃	認証取得事業所
		アスファルト合材	認証取得事業所
対象外	本社・流給油所		2026 年までに認証取得予定
	生コン工場		2024 年までに認証取得予定
	俵内工場		2024 年までに認証取得予定
	上台工場・農場		2025 年までに認証取得予定
	堀川工場		2025 年までに認証取得予定
	業務(資材・リース)		2025 年までに認証取得予定
	関口給油所		2026 年までに認証取得予定
	社川給油所		2026 年までに認証取得予定
	埴給油所		2026 年までに認証取得予定
	マスホン棚倉店		2026 年までに認証取得予定
事業活動	産業廃棄物の収集・運搬、中間処理業		
	アスファルト合材の製造販売、砂の製造販売		

7 対象期間

令和4年10月～令和5年3月（暫定期間）

8 段階的認証とする理由

対象範囲:大梅工場

事業内容が多岐に渡りまた、事業拠点が複数あることから、一度に認証を取得することが難しいと判断し、環境負荷が高い大梅工場を初めに認証登録後、4年以内には段階的に拡大します。

9 適用ガイドライン

エコアクション21ガイドライン2017年版

産業廃棄物処理業者向けガイドライン2017年版

10 対象範囲の情報公表項目

(1) 許可・認定・登録

廃棄物に関する許可

	許可番号	許可年月日	有効年月日	事業の範囲	
				事業区分	廃棄物種類
1	第00703046661号	R4.3.31	R9.3.16	福島県南地方振興局 産業廃棄物収集運搬業	①②③④⑤⑥⑦
2	第00900046661号	R5.4.23	R10.4.22	栃木県 産業廃棄物収集運搬業	①④⑦
3	第00801046661号	R5.6.1	R10.4.15	茨城県 産業廃棄物収集運搬業	①④⑦
4	第00720046661号	R4.3.31	R9.3.16	福島県 産業廃棄物処分業	①⑥⑦
産 業 廃 棄 物 の 種 別	① 汚泥(無機性汚泥に限る)			② 廃プラスチック類(自動車等破砕物を除く。)	
	③ 紙くず			④ 木くず	
	⑤ 金属くず(自動車等破砕物を除く。)			⑥ ガラスくず、コンクリートくず及び、陶磁器くず	
					⑦ がれき類

一般建設業に関する許可

	許可番号	有効期間	建設業の種類
1	福島県知事 許可(般-3)第27082号	R4.3.19～R9.3.18	土木工事業 舗装工事業 とび・土工工事業

(2) 施設等の状況

● 運搬車両の種類と台数

	車種	台数
1	ダンプ車	5
2	キャブオーバ	1
3	脱着装置付コンテナ専用車	1
4	コンクリートミキサー車	5

● 破碎・分別に伴う設備機械の種類と台数

	機械名	台数
1	小割機付ショベル	1
2	ショベルローダー	1

● 処理施設の種類、処分する産業廃棄物の種類、処理能力、処理方式

ア、中間処理(破碎)に係る施設

処理施設の種類	がれき類及びガラスくず・コンクリートくず・陶器くずの破碎施設
処理能力	384t/日(8時間) 48t/時間

イ、中間処理(汚泥造粒固化)に係る施設

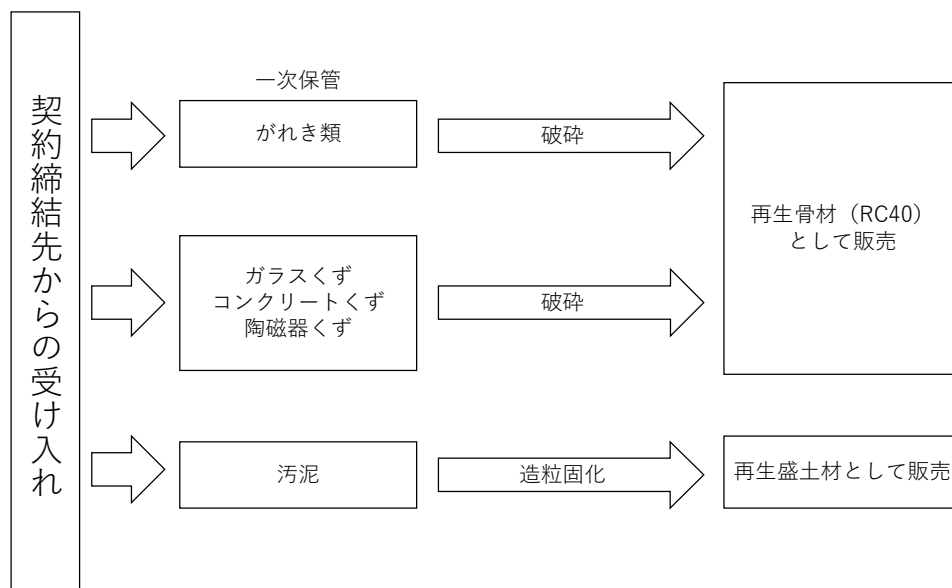
処理施設の種類	汚泥の造粒固化施設(固定式、移動式兼用)ーオデッサシステム
処理能力	120m ³ /日(8時間) 15m ³ /時間

中間処理(汚泥造粒固化)に係る施設

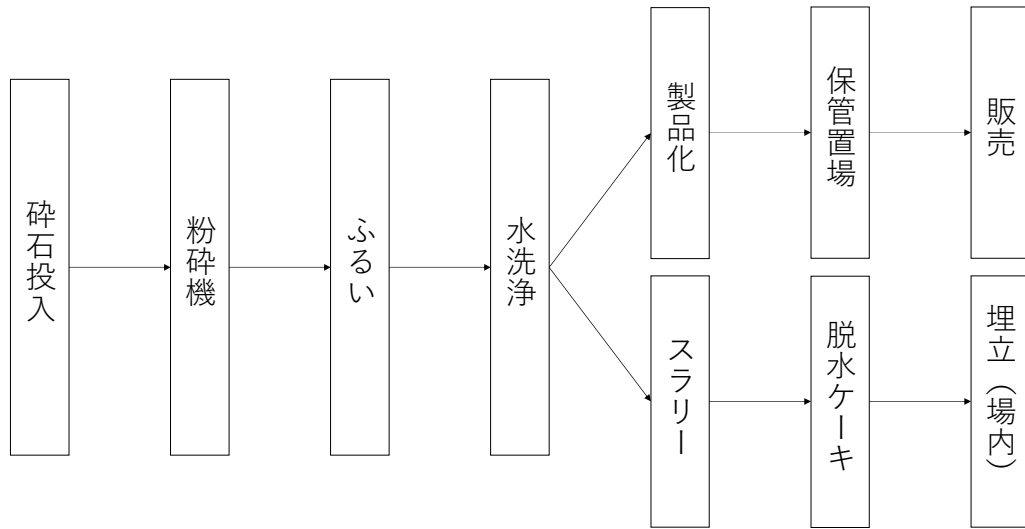
処理施設の種類	汚泥の造粒固化施設(固定式)ーリテラBZ120
処理能力	160m ³ /日(8時間) 20m ³ /時間

(3) 処理工程図

● 産業廃棄物中間処理施設 全体処理フロー



● 砕砂製造フロー図



(4) 受託した産業廃棄物の収集運搬量 (R4.10.1～R5.3.31 実績)

種類	収集運搬量 (t)
アスコン破片	12,685
コンクリート破片	6,417
ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	2,049
がれき類(廃バラスト)	3,095
無機性汚泥	884

(5) 受託した産業廃棄物の処理量 (R4.10.1～R5.3.31 実績)

種類	処理量 (t)
アスコン破片	12,816
コンクリート破片	6,396
ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	1,996
がれき類(廃バラスト)	3,095
無機性汚泥	884

3. 環境経営システムの実施体制図及び役割・責任・権限表

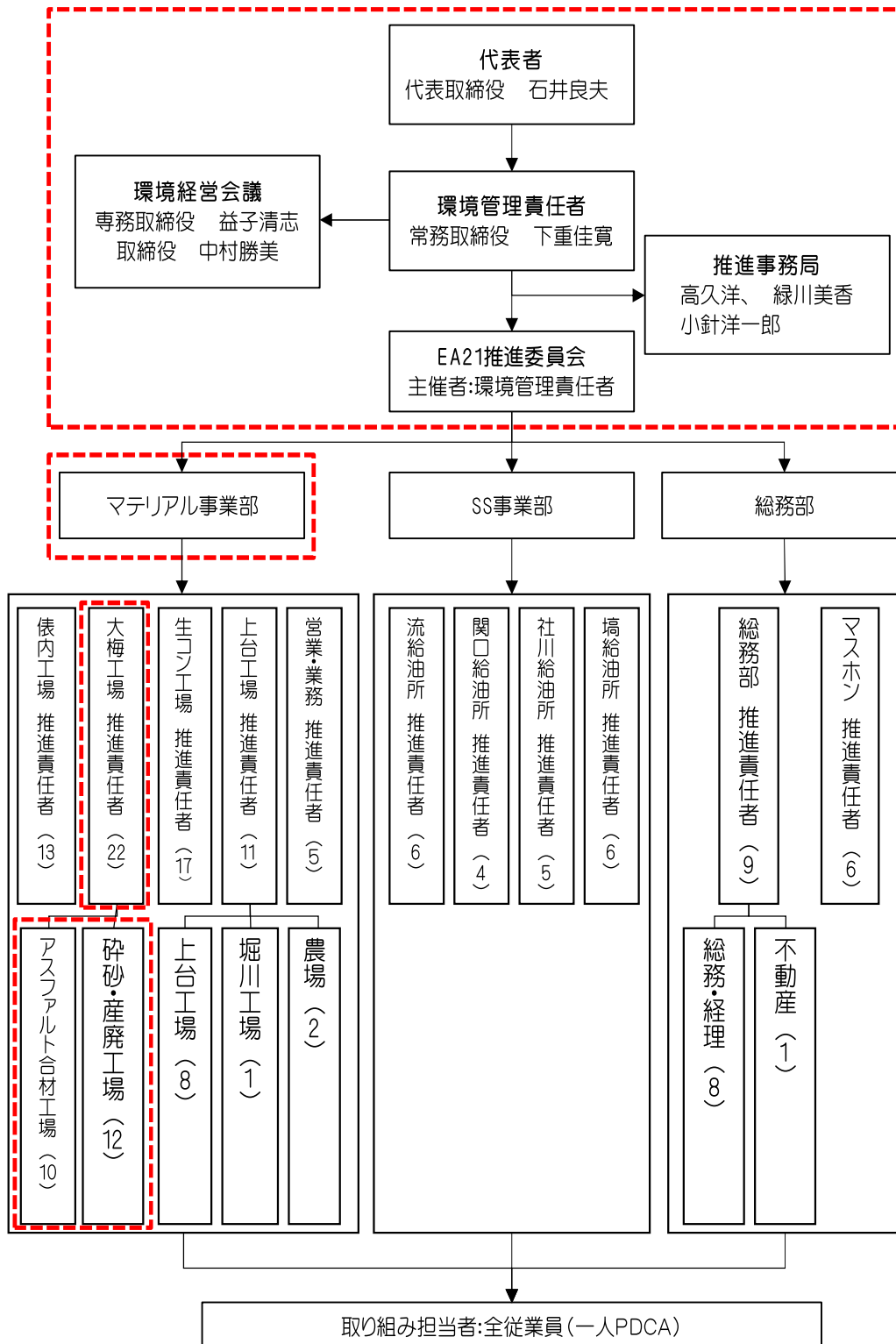
5. 環境経営システム体制図

制定年月日:2022.9.3

改定年月日:2024.2.19

対象事業所: **枠内事業所**

(1).実施体制図



















(2).役割・責任・権限	
役割・責任・権限	
代表者 (代表取締役)	・環境経営に関する統括責任
	・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間を準備
	・環境管理責任者を任命
	・経営における課題とチャンスの明確化
	・実施体制の構築
	・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知
	・環境経営目標・環境経営計画を承認
	・代表者による全体の評価と見直しを実施 環境経営会議の開催
	・環境経営レポートの承認 SDGsの推進
環境管理 責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理
	・エコアクション21推進委員会を定期的に開催する
	・緊急事態への準備及び対応(BCP含む)訓練に立会い結果の評価をする
	・環境関連法規等の取りまとめ票を承認
	・環境経営目標・環境経営計画の確認又は承認
	・環境経営目標及び環境経営計画の取組結果を代表者へ報告
	・環境経営レポートの確認又は承認
事務局 担当者	・環境管理責任者の補佐
	・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施
	・環境目標、環境活動計画書原案の作成
	・環境経営目標及び環境経営計画の実績集計、PDCAの回転確認(進捗管理)
	・環境関連法規等取りまとめ表の作成
	・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施
	・環境関連の外部コミュニケーションの窓口
	・環境活動レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)
対象事業 所責任者 担当者	・自部門における環境経営目標は部下を通して達成を図る。
	・自部門における環境経営方針の周知
	・自部門の従業員に対する教育訓練の実施
	・自部門に関連する環境経営目標及び環境経営計画の実施及び達成状況の報告
	・特定された項目の手順書作成及び運用管理
	・自部門における緊急事態対応手順書の作成、テスト・訓練の実施記録の作成保管
部門社員	・環境経営方針の理解により、全社と自己の立ち位置を自覚して誓約の重みを確認する
	・役割の理解と削減目標に対するPDCAが回っていることを確認する
	・取組みの進捗状況を月単位で管理し目標の達成に向かっていくことを確認する
	・目標の達成に向けた改善提案を積極的に言い力量を発揮する
	・外部コミュニケーションの情報を記録し、迅速に報告する
改定履歴	制定:令和4年9月3日
	改定:令和4年10月1日
	改定:令和5年5月19日
	改定:令和5年12月18日

4. 環境経営目標

(1).中長期目標

No	環境経営目標項目	基準年	削減率等	中長期目標(3年)			
		2021年度 (R3.10~R4.3)	年率(%) 年件数(件)	2022年度 (R4.10~R5.3)	2023年度 (R5.4~R6.3)	2024年度 (R6.4~R7.3)	
1	二酸化炭素排出量削減(kg/年)	1,057,387	1%	1,046,813	2,072,690	2,051,963	
2	自社廃棄物排出量削減(kg/年)	7,320	1%	7,247	14,349	14,206	
3	水使用量削減(m ³ /年)	345	1%	342	677	670	
4	化学物質購入量削減(kg/年)	71,903	1%	71,184	140,944	139,535	
5	グリーン購入品増加(品/年)	0	2アイテム増	2	4	6	
6	運搬車両における環境配慮	軽油使用量削減(L/年)	23,685	1%	23,448	46,427	45,963
	事業活動における環境配慮項目	再資源化率の向上(%)	87.6	99%以上	99%以上	99%以上	99%以上

(2).単年度目標

No	環境目標項目	基準年(2021年度実績) (R3.10~R4.3)	削減率 (%、件数)	2022年度環境経営目標 (R4.10~R5.3)		
1	二酸化炭素排出量	1,057,387	1%	1,046,813		
	 11 住み続けられるまちづくりを	(1) 電力排出量	212,048	1%	209,928	
	 13 気候変動に具体的な対策を	(2) 灯油排出量	2,891	1%	2,862	
	 15 陸の豊かさも守ろう	(3) LPG排出量	369	1%	366	
		(4) ガソリン排出量	4,303	1%	4,260	
		(5) 軽油排出量	274,095	1%	271,354	
		(6) A重油排出量	563,680	1%	558,043	
2	自社廃棄物排出量	 12 つくる責任 つかう責任	一般廃棄物	-	1%	計量する
			産業廃棄物	7,320	1%	7,247
3	水使用量	 6 きれいな水  14 海の豊かさを守ろう  15 陸の豊かさも守ろう	345	1%	342	
4	化学物質購入量	 9 産業・イノベーション・基盤  12 つくる責任 つかう責任  13 気候変動に具体的な対策を	71,903	1%	71,184	
5	グリーン購入の推進	 12 つくる責任 つかう責任  14 海の豊かさを守ろう  15 陸の豊かさも守ろう	0	2アイテム増	2	
6	受託した産廃の収集運搬及び製品運搬における環境配慮	燃費管理	 12 つくる責任 つかう責任  13 気候変動に具体的な対策を	23,685	1%	23,448
	事業活動における環境配慮項目	再資源化率の向上	 12 つくる責任 つかう責任	87.6	99%以上	99%以上

※二酸化炭素排出係数:0.356 t-CO2/kWh((株)V-Power R4.1.7 公表値(基礎排出係数))

(3) 本年度自主設定環境経営目標

環境経営目標項目	取組期間(R4.10~R5.3)目標	中長期目標(3年)
地域貢献活動協力	史跡周辺、河川等の地域清掃活動・イベント活動への参加	年3回の実施

5. 環境経営計画（暫定期間）

対象年度：2022年度

対象期間（暫定）：2022年10月1日～2023年3月31日

環境経営目標	環境経営計画		担当者	取組の具体的内容	実施時期/頻度
二酸化炭素排出量の削減 	電力使用の削減		緑川	不要照明の消灯	通年
			部門長	照明器具の改善(蛍光灯をLED灯に更新)	2024.8
			緑川	OA機器・家電製品の待機電力の削減	通年
			〃	冷暖房の温度管理(冬20℃、夏28℃)	通年
			〃	冷暖房機器フィルター清掃	年2回
			〃	冷暖房の上下温度差解消(サーキュレーターの設置)	2023.4
			部門長	各種設備の効率的な運転(作業手順の見直し)	年2回
	ガス使用の削減		緑川	給湯器のこまめな温度調節を行う	毎日
			部門長	ガス使用の見直し	2023.4
	エコドライブの実施		大森	エコドライブ教育研修に参加	8月
			〃	日常点検の実施	毎日
			〃	アイドリング時間の削減	通年
			〃	急発進、急加速はしない	通年
		〃	タイヤの空気圧を定期的に調整する	毎月	
		緑川	燃費管理の実践(走行距離数/燃料消費量)	毎日	
の廃棄物削減(排出社量) 	産業廃棄物	廃棄物分別の徹底	鈴木	分別の徹底と保管	通年
			〃	分別方法を判りやすく掲示	2023.4
			〃	廃棄物置場の整理	通年
	一般廃棄物	ゴミの削減	緑川	コピー数量の削減	通年
			〃	OA紙の資源化	通年
			〃	分別の徹底	通年
			〃	マイバック・マイボトル・マイ箸への移行	通年
	の総削減水量 	水道使用量の削減		中村部長	洗車時の自動水栓の取り付け
水道使用量の削減		緑川	手洗い時の自動水栓又は、自閉式自動水栓の設置	2022.4	
中水の利用		部門長	循環水システムの工夫	通年	
地下水・雨水の利用		部門長	利用目的(消雪・散水)に応じた効率的な使用	通年	
化学物質削減 	化学物質の削減		和知	化学物質の代替品への移行	通年
	化学物質のSDS管理		〃	化学物質使用量の台帳管理による使用	通年
	化学物質有害性把握		〃	揮発性有機溶剤の削減	通年
グリーン購入の推進 	環境負荷低減		緑川	グリーン購入品目の集計	通年
			緑川	エコマーク品の購入推進	通年
環境配慮 	再資源化率向上		緑川	月単位再資源化率の集計	2022.11～
	資源の有効利用		〃	中間処理における待機動力の削減	通年
	燃費向上		〃	燃費管理の実施	毎日
	緑化活動		生田目	敷地内植樹(グリーンカーテン等)の実施	年1回
地域貢献活動 	地域・社会貢献活動		部門長	地域清掃活動への参加	年3回実施
			〃	地域の環境イベントへの積極的参加	通年

6. 環境経営計画の取組内容と実施結果の評価

環境経営目標	環境経営計画	担当者	取組の具体的内容	実施結果の評価	
				評価	コメント
二酸化炭素排出量の削減 	電力使用の削減	緑川	不要照明の消灯	○	12～3月（冬季）：ベレットストーブと併用で温度管理を行いました。昼休み時間の消灯確認。エアコンのフィルターの掃除を実施した。また、作業手順を見直した。サーキュレーターの設置を次年度に行います。
		部門長	照明器具の改善(蛍光灯をLED灯に更新)	△	
		緑川	OA機器・家電製品の待機電力の削減	○	
		緑川	冷暖房の温度管理(冬20℃、夏28℃)	△	
		緑川	冷暖房機器フィルター清掃	◎	
		緑川	冷暖房の上下温度差解消(サーキュレーターの設置)	—	
		部門長	各種設備の効率的な運転(作業手順の見直し)	◎	
	ガス使用の削減	緑川	給湯器のこまめな温度調節を行う	○	
		部門長	ガス使用の見直し	—	
	エコドライブの実施	大森	エコドライブ教育研修に参加	—	
		大森	日常点検の実施	○	
		大森	アイドリング時間の削減	△	
		大森	急発進、急加速はしない	○	
		大森	タイヤの空気圧を定期的に調整する	○	
		緑川	燃費管理の実践(走行距離数/燃料消費量)	○	
廃棄物の削減(自社量) 	産業廃棄物	廃棄物分別の徹底	鈴木	分別の徹底と保管	○
			鈴木	分別方法を判りやすく掲示	◎
			鈴木	廃棄物置場の整理	○
	一般廃棄物	ゴミの削減	緑川	コピー数量の削減	○
			緑川	OA紙の資源化	◎
			緑川	分別の徹底	◎
			緑川	マイバック・マイボトル・マイ箸への移行	△
総削減水量 	水道使用量の削減	中村部長	洗車時の自動水栓の取り付け	—	
	水道使用量の削減	緑川	手洗い時の自動水栓又は、自閉式自動水栓の設置	○	
	中水の利用	部門長	循環水システムの工夫	◎	
	地下水・雨水の利用	部門長	利用目的(消雪・散水)に応じた効率的な使用	○	
減化学物質 	化学物質の削減	和知	化学物質の代替品への移行	△	
	化学物質のSDS管理	和知	化学物質使用量の台帳管理による使用	×	
	化学物質有害性把握	和知	揮発性有機溶剤の削減	△	
グリーン購入 	環境負荷低減	緑川	グリーン購入品目の集計	—	
		緑川	エコマーク品の購入推進	—	
環境本業配の 	再資源化率向上	緑川	月単位再資源化率の集計	◎	
	資源の有効利用	緑川	中間処理における待機動力の削減	◎	
	燃費向上	緑川	燃費管理の実施	○	
	緑化活動	生田目	敷地内植樹の実施	—	
地域貢献活動 	地域・社会貢献活動	部門長	地域清掃活動への参加	◎	
		部門長	地域の環境イベントへの積極的参加	○	

目標達成100%以上：◎ 目標達成90～100%未満：○ 目標達成70～90%未満：△ 目標達成70%未満：×

7. 環境活動計画の実績とその評価

環境経営目標の達成度評価(総量と売上高基準原単位評価)

環境経営目標 増減項目	総量(上段) 売上高原単位(下 段)	基準年 2021年度 実績 (a)	2022年度 削減率 1%削減	2022年度 目標 (b)	実績年 2022年度 実績 (c)	実績基準 削減率 (%) (a-c)/a×100	目標基準 達成率 (%) b/c×100	評価
売上高 (万円単位)		50,486.4			72,110.4			
CO2総量削減	CO2 (kg/年)	1,057,387	0.01	1,046,813.1	1,001,410	5.3	104.5	◎
	CO2指数 (CO2kg/万円)	21	0.01	20.7	14	33.7	149.3	◎
電力使用量削減	電力量 (CO2kg/年)	212,048	0.01	209,928	245,656	-15.8	85.5	△
	電力量指数 (CO2kg/万円)	4.2	0.01	4.158	3.4	18.9	122.1	◎
灯油使用量削減	灯油 (CO2kg/年)	2,891	0.01	2,862	1,713	40.7	167.1	◎
	灯油 (CO2kg/万円)	0.06	0.01	0.057	0.02	58.5	238.6	◎
LPG使用量削減	LPG (CO2kg/年)	369	0.01	365.3	470	-27.3	77.8	△
	LPG (CO2kg/万円)	0.01	0.01	0.007	0.01	10.9	111.1	◎
ガソリン使用量 削減	ガソリン (CO2kg/年)	4,303	0.01	4,260	4,286	0.4	99.4	○
	ガソリン (CO2kg/万円)	0.09	0.01	0.08	0.06	30.3	142.0	◎
軽油使用量削減	軽油 (CO2kg/年)	274,095	0.01	271,354	223,546	18.4	121.4	◎
	軽油 (CO2kg/万円)	5.4	0.01	5.37	3	42.9	173.4	◎
A重油使用量削 減	A重油 (CO2kg/年)	563,680	0.01	558,043	525,740	6.7	106.1	◎
	A重油 (CO2kg/万円)	11.2	0.01	11.05	7	34.7	151.6	◎
一般廃棄物排出量削 減	一般廃棄物 (t/年)		0.01	0.000	0.3		0.0	×
	一般廃棄物 (t/万円)	0.00000	0.01	0.0000	0.00000		0.0	×
自社産業廃棄物 排出量削減	産業廃棄物 (t/年)	7	0.01	7	5	30.9	143.2	◎
	産業廃棄物 (t/万円)	0.0	0.01	0.0	0.0	51.6	204.6	◎
水使用量削減	水使用量 (m3/年)	345.0	0.01	341.6	348.0	-0.9	98.1	○
	水使用量 (m3/万円)	0.01	0.01	0.01	0.00	29.4	140.2	◎
化学物質購入量	化学物質購入量 (kg/年)	71,903	0.01	71,184.0	59,671	17.0	119.3	◎
	化学物質購入量 (kg/万円)	1.42	0.01	1.41	0.83	41.9	170.4	◎
グリーン購入品 目数増加	品目数 (品/年)		2	2	0	0.0	0.0	×
受託した産業廃棄物の 再資源化率向上 (※)	再資源化率 (%)	87.6	99%以上	99%以上	97.7	10.1	98.7	○
車両の燃費向上 (※)	軽油使用量(L/年)	23,685	0.01	23,448	23,305	1.6	100.6	◎
	軽油使用量(L/万円)	0.47	0.01	0.46	0.32	31.1	143.7	◎
地域貢献活動協力	地域清掃活動・環境イベ ントへの参加	2		年3回	3		100.0	◎










評価基準	達成率100%以上	◎
	達成率90%以上から100%未満*1)	○
	達成率70%以上から90%未満	△
	達成率70%未満	×

*1) 達成率90~100%は若干目標には到達しなかったがPDCAが回ったことを評価。

※再資源化率向上については、目標基準達成率c/b×100で算出しました。

8. 環境経営目標の実績と達成率を踏まえた評価

環境経営目標の達成度評価コメント(総量と売上高基準原単位評価)

環境経営目標 増減項目	総量(上段) 売上高原単位(下 段)	実績基準 削減率(%) (a-c)/a×100	目標基準 達成率 (%) b/c×100	評価	達成度評価コメント
売上高(万円単位)					
CO2総量削減 	CO2(kg/年)	5.3	104.5	◎	電力とガスのCO2排出量は増加したが、売上げに対する排出量は削減できた。
	CO2指数(CO2kg/万円)	33.7	149.3	◎	
電力使用量削減	電力量(CO2kg/年)	-15.8	85.5	△	大型の工事が多く、生産量が増加し電気使用量も増加したが、売上げに対しての使用量は削減できた。
	電力量指数(CO2kg/万円)	18.9	122.1	◎	
灯油使用量削減	灯油(CO2kg/年)	40.7	167.1	◎	ペレットストーブとの併用により、暖房に使用する灯油が削減できた。
	灯油(CO2kg/万円)	58.5	238.6	◎	
LPG使用量削減	LPG(CO2kg/年)	-27.3	77.8	△	給湯器のガスの使用を見直したことにより、売上げに対する使用量は削減できた。
	LPG(CO2kg/万円)	10.9	111.1	◎	
ガソリン使用量削減	ガソリン(CO2kg/年)	0.4	99.4	○	エコドライブ運転を行ったことにより、CO2排出量を削減できた。
	ガソリン(CO2kg/万円)	30.3	142.0	◎	
軽油使用量削減	軽油(CO2kg/年)	18.4	121.4	◎	エコドライブ運転を実施した結果、約3,180kg-CO2/半年削減できた。
	軽油(CO2kg/万円)	42.9	173.4	◎	
A重油使用量削減	A重油(CO2kg/年)	6.7	106.1	◎	今期は合材の出荷量が増加したため、使用量は増加したが、売上げに対しての使用量は削減できた。
	A重油(CO2kg/万円)	34.7	151.6	◎	
一般廃棄物排出量削減 	一般廃棄物(t/年)		0.0	×	今期データを集計したので、来期より評価いたします。
	一般廃棄物(t/万円)		0.0	×	
自社産業廃棄物排出量削減 	産業廃棄物(t/年)	30.9	143.2	◎	自社排出の産業廃棄物の排出量は削減できた。
	産業廃棄物(t/万円)	51.6	204.6	◎	
水使用量削減 	水使用量(m3/年)	-0.9	98.1	○	水の使用量は増加したが、売上げに対しての使用量は削減できた。
	水使用量(m3/万円)	29.4	140.2	◎	
化学物質購入量 	化学物質購入量(kg/年)	17.0	119.3	◎	前期に購入した固化剤を今期で使用していたため、購入量は削減できた。
	化学物質購入量(kg/万円)	41.9	170.4	◎	
グリーン購入品 目数増加 	品目数(品/年)	0.0	0.0	×	データ集計していないため、来期よりデータを集計します。
受託した産業廃棄物の 再資源化率向上(※) 	再資源化率(%)	10.1	98.7	○	製造工程の見直しにより雨天時の稼働等の作業効率が良くなったことで、再資源化率が向上した。
車両の燃費向上(※) 	軽油使用量(L/年)	1.6	100.6	◎	エコドライブを実施した結果、基準年度比で、約1,220L/半年の燃料を削減でき、約3,180kg-CO2/半年のCO2を削減できた。
	軽油使用量(L/万円)	31.1	143.7	◎	
地域貢献活動協力 	地域清掃活動・環境イベントへの参加		100.0	◎	社内CSR委員会の清掃活動や県内の環境環境イベントに参加した。

評価基準	達成率100%以上	◎
	達成率90%以上から100%未満*1)	○
	達成率70%以上から90%未満	△
	達成率70%未満	×

*1)達成率90~100%は若干目標には到達しなかったがPDCAが回ったことを評価。

※再資源化率向上については、目標基準達成率c/b×100で算出しました。

9. 環境関連法規の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反・訴訟の有無

No	適用される環境関連法規	遵守(○)
1	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	○
2	建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律	○
3	公害防止組織法	○
4	騒音規制法	○
5	浄化槽法	○
6	大気汚染防止法	○
7	フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律	○
8	特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律	○
9	労働安全衛生法	○
10	消防法(危険物取扱い部分)	○
11	特定家庭用機器再商品化法	○
12	使用済自動車の再資源化等に関する法律	○
13	国等による環境物品等の調達の推進に関する法律	○

(1) 遵守状況の確認及び評価の結果

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守され違反もありませんでした。

(2) 違反及び、訴訟の有無について

関係機関及び工場近隣からの違反の指摘、訴訟等もなく、是正処理に至る問題はありませんでした。

10. 代表者の全体評価及び見直し

弊社は、生コン工場、砕石工場、ガソリンスタンドや書店など部門が多岐に渡っております。そのため、2022年10月から環境負荷が高い産業廃棄物の収集運搬及び、中間処理業を行っている大梅工場からエコアクション21の取得に向けて活動してきました。

今年は、新型コロナウイルス感染防止対策のため、勉強会や避難訓練等を非接触で行う形で調整し、出来る限りの活動を行ってまいりました。少しずつではありますが、従業員一人一人が環境に対する取り組みを行ったことで、基準年度比でほとんどの項目で目標値を達成することができました。

産業廃棄物中間処理については、ほぼ再資源化することができ、目標値を達成できました。これからも継続して参ります。

車両の燃費向上については、エコドライブ講習を行うことで意識向上を図りまた、車両のメンテナンスを定期時に行うことで、目標値を達成できました。

今年度から一般廃棄物の排出量を計量しゴミの排出量を把握しています。次年度はゴミを削減することを目指します。

また、環境に優しい製品を積極的に購入するために、グリーン購入品目を集計する計画を立てておりましたが、集計に至りませんでした。次年度は集計を行い、積極的にグリーン購入を推進していきます。

今回は、暫定期間であり、新しく集計を始めた項目を有し、今後はその集計を基に環境経営目標を設定し、活動内容を見直し継続していきます。また、他の部門にも活動を広げ、4年以内に段階的に対象範囲を拡大していきます。全従業員と共に環境資源を有効に活用し、環境に優しい企業を目指して取り組んでいきます。

















11 今年度の評価を踏まえた次年度環境経営目標及び環境経営計画

(1) 次年度 環境経営目標

(1).中長期目標

No	環境経営目標項目	基準年	削減率等	中長期目標(3年)		
		2021年度 (R3.10~R4.3)	年率(%) 年件数(件)	2023年度 (R5.4~R6.3)	2024年度 (R6.4~R7.3)	2025年度 (R7.4~R8.3)
1	二酸化炭素排出量削減(kg/年)	1,057,387	1%	2,072,690	2,051,963	2,031,443
2	自社廃棄物排出量削減(kg/年)	7,320	1%	14,349	14,206	14,064
3	水使用量削減(m ³ /年)	345	1%	677	670	663
4	化学物質購入量削減(kg/年)	71,903	1%	140,944	139,535	138,140
5	グリーン購入品増加(品/年)	0	2アイテム増	4	6	8
6	運搬車両における環境配慮 軽油使用量削減(L/年)	23,685	1%	46,427	45,963	45,503
	事業活動における環境配慮項目 再資源化率の向上(%)	87.6	99%以上	99%以上	99%以上	99%以上

(2).単年度目標

No	環境目標項目	基準年(2021年度実績) (R3.10~R4.3)	削減率 (%、件数)	2023年度環境経営目標 (R5.4~R6.3)		
1	二酸化炭素排出量	1,057,387	1%	2,072,690		
	 11 住み続けられるまちづくりを	(1) 電力排出量	212,048	1%	415,657	
	 13 気候変動に具体的な対策を	(2) 灯油排出量	2,891	1%	5,667	
	 15 陸の豊かさを守ろう	(3) LPG排出量	369	1%	724	
		(4) ガソリン排出量	4,303	1%	8,435	
		(5) 軽油排出量	274,095	1%	537,281	
		(6) A重油排出量	563,680	1%	1,104,926	
2	自社廃棄物排出量	 12 つくる責任、つかう責任	一般廃棄物	-	1%	647
			産業廃棄物	7,320	1%	14,349
3	水使用量	 6 きれいな水と衛生  14 海の豊かさを守ろう  15 陸の豊かさを守ろう	345	1%	677	
4	化学物質購入量	 9 産業と技術革新の基盤をつくろう  12 つくる責任、つかう責任  13 気候変動に具体的な対策を	71,903	1%	140,944	
5	グリーン購入の推進	 12 つくる責任、つかう責任  14 海の豊かさを守ろう  15 陸の豊かさを守ろう	0	2アイテム増	4	
6	受託した産廃の収集運搬及び製品運搬における環境配慮	燃費管理  12 つくる責任、つかう責任  13 気候変動に具体的な対策を	23,685	1%	46,427	
	事業活動における環境配慮項目	再資源化率の向上  12 つくる責任、つかう責任	87.6	99%以上	99%以上	

※二酸化炭素排出係数:0.356 t-CO2/kWh((株)V-Power R4.1.7 公表値(基礎排出係数))

※一般廃棄物排出量は、2022年度の326.6kg/半年から年1%削減で設定しました。

(2) 次年度 環境経営計画

環境経営目標	環境経営計画		担当者	取組の具体的内容	実施時期/頻度
 二酸化炭素排出量の削減	電力使用の削減		緑川	不要照明の消灯	通年
			部門長	照明器具の改善(蛍光灯をLED灯に更新)	2024.11
			緑川	OA機器・家電製品の待機電力の削減	通年
			緑川	冷暖房の温度管理(冬20℃、夏28℃)	通年
			緑川	冷暖房機器フィルター清掃	年2回
			緑川	冷暖房の上下温度差解消(サーキュレーターの設置)	2023.4
			部門長	各種設備の効率的な運転(作業手順の見直し)	年2回
	ガス使用の削減		緑川	給湯器のこまめな温度調節を行う	毎日
			部門長	電気給湯器への切り替え	2023.10
	エコドライブの実施		大森	エコドライブ教育研修に参加	8月
			大森	日常点検の実施	毎日
			大森	アイドリング時間の削減	通年
			大森	急発進、急加速はしない	通年
			大森	タイヤの空気圧を定期的に調整する	毎月
			緑川	燃費管理の実践(走行距離数/燃料消費量)	毎日
 の削減(自社)	産業廃棄物	廃棄物分別の徹底	鈴木	分別の徹底と保管	通年
			鈴木	廃棄物置場の整理	通年
	一般廃棄物	ゴミの削減	緑川	コピー数量の削減	通年
			緑川	OA紙の資源化	通年
			緑川	分別の徹底	通年
			緑川	マイバック・マイボトル・マイ箸への移行	通年
 の総削減	水道使用量の削減		中村部長	洗車時の自動水栓弁の取り付け	2024.3
	中水の利用		部門長	循環水システムの工夫	通年
	地下水・雨水の利用		部門長	利用目的(消雪・散水)に応じた効率的な使用	通年
 の削減	化学物質の削減		和知	化学物質の代替品への移行	通年
	化学物質のSDS管理		和知	化学物質使用量の台帳管理による使用	通年
	化学物質有害性把握		和知	揮発性有機溶剤の削減	通年
 のNG	環境負荷低減		緑川	グリーン購入品目の集計	通年
			緑川	エコマーク品の購入推進	通年
 本業の環境配慮	再資源化率向上		緑川	年間の再資源化率の集計	2022.11~
	資源の有効利用		緑川	中間処理における待機動力の削減	通年
	燃費向上		緑川	燃費管理の実施	毎日
	緑化活動		生田目	敷地内植樹(グリーンカーテン等)の実施	年1回
 地域貢献活動	地域・社会貢献活動		部門長	地域清掃活動への参加	年3回
			部門長	各種環境イベントへの積極的参加	通年
 活動	5S(整理・整頓・清掃・清潔・躰)活動		部門長	整理・整頓・清掃を行う	毎日
			部門長	赤札作戦(要・不要の仕分け)の実施	年1回